

みなさん、こんにちは、徳永剛です。3月某日。まだ桜のつぼみは硬く、梅の花が赤、白と咲き始めている頃、高山地区の奥深い山の中で仕事をする機会があったのです。その日はまだ雨上がりでちょっと肌寒い。なんとか雲の合間から少しだけ春の日差しが顔を出し、湿った道路を照らしているのだ。吹く風はどことなくまだ冷たく、皆、まだ薄手のジャンパーが手放せないのです。

そんな中、都会では決して味わえない春を感じる出来事が。昼前の休憩時間での事。私の周りは雑木林。今、私以外、人っ子一人いないのです。ゆっくり休憩をしていると、気付く事があったのだ。「クアックアツクアックアツ」カラスのせわしい鳴き声だ。さらに小鳥のさえずり「チツ、チツ、チツ」なんの鳥だろう。他にも「チュチュチュチュ」スズメか？また「ゲゲゲゲゲツ」カエル？するとそこに春を告げる鳥が。「ホ～ホケキョ」そう、ウグイスなのである。もう、すっかり春なのだ。これぞ田舎で味わえる春の特権なのです。

数匹のウグイス。しばらく聞いていると私はそれぞれの個体を識別出来る様になったのだ。例えば「ホ～ホケケ」(半人前なのじゃ)「ホ～ホケキョキョ」(惜しいの～)「ホ～ホキョ」(もう少しじゃ)「ホケケホケケホケケ」(笑わせにはいつとるの～)と。ところで今、私は思案中なのである。今回のDMに何を書こうかと。「な～にも思いつかね～」晴れてきたの～。木漏れ日が温かいのじゃ。はああ、これぞ小春びよりよの～。「ホ～ホ～ホケキョ」何、書こっかの～。私も鳴きたい。「ホケケホケケホケケキョキョキョ～」

という訳で私はよくネタ切れになるのです。そこで提案。みなさんからお題が欲しいのだ。ラジオのリスナーのハガキの質問、悩みに答えるみたいなお題。私なりの答えがきつとあるのです。合ってる、合っていない別だ。例えば、今のトランプ政権、イランについてどう思うか？でもいい。いっぱい言いたい事があるのだ。しかしそんな難しい話でなくてもいい。恋愛についてとか(ムフツ)。何でもイイのです。浮気(あらま)、旦那、子育てについてでも。さらには株、金相場、ビットコイン、なんでもござれなのです。なんでネコちゃんはミャア～ってなくの？とかでも。責任はもたないが、お答えするのです。とにかくお題が欲しいのだ。

私は自分の子供達の質問にも答え続けたのだ。例えば「なんで勉強しないといけないの？」には「しなくてもイイ。自分の事やろが」と。「勉強で将来やりたい事を選択肢が増えるカモ」と。「今勉強をやっつけば将来勉強しないといけない時にやり方が分かり楽」と。「だけど将来やりたい事が見つかったなら関係ない勉強はしないでイイのだ～」と。正しいか正しくないかは別。私の意見、答えなのです。「算数は？」に対しては「算数を知ってれば儲かるぞ～。損をしたいか？」からの～「理科は？」は「私達よりずっとずっと頭の良い天才が生涯かけて見つけた公式をタダで教えてもらえる。ピタゴラス、アルキメデス、ニュートンはタダで教えて欲しかったと思うぞ。覚えてみたら」と。「国語は？」に対しては「言葉を楽しむためなのだ」と。「バカ言葉で例えると、【コラ、バカ者】と、【もう、アナタなんかキライになってやる・・・グスッ・・・もう・・・バカッ】と、【イヤン、バカン、そこはミミなのよ～】では全然、意味が違ってきます。だから言葉を楽しむのが国語なのだ」と。

しかし答えに時間がかかる場合も。「歴史は？」コレは子供達が大人になってから答えたのです。「歴史上の失敗談を知ったら自分はソレをしなければイイ。成功談を知ったらソレをマネればイイ」と。今風に例えると「あら奥さん、聞きまして～？山口君、飲酒運転で免許取り消しされますわよ。5年の懲役に100万円の罰金ですって。」「あれま～ん」「ココだけの話、電柱も車も壊して人もケガさせたらしいございますわ」「やだ～ん」「さらに保険ダメみたいですよ」「ご愁傷様～ん」「同乗者の吉澤さんも、一緒に飲んでた藤本さん、井上さん、伊藤さんも懲役刑らしいわよ」「大変ございますわね～。お互い気を付けましょ。ホホホホ。ではごきげんよう」って失敗談を知ったら自分は絶対しないのだ。そう私は答えるのです。ぜひお題をお願いしたい。では。

電子化は、もうずいぶん前からどんどん進んでいますね～。リモート会議にチャットで問い合わせ、電話をかけてもAI対応。AIが身近なものになってきています。本当にここ数年で私たちの生活はますます変化しています。電子化やらない選択肢はもう無い様な……。

電話の問い合わせもAIがどんどんしゃべり聞き取れず「待って」とは言えませんが慌てなければ「もう一度聞く」の番号を押せば何度でも聞く事は出来ます。人相手なら面倒くさそうになるでしょう。不機嫌な声に。もういいと電話を切ってしまう事も。その点AIは、まったく変わらず何度でも普通に答えてくれます。イイかもと思いたいです。頭から無理と思わず落ち着いて何度でもチャレンジすればイイと聞き直っています。AI、人間、どちらかのイイところを生かし暮らしを豊かにしていけたらと思います。

でもご年配のお客様の問い合わせでご苦労している方もいらっしゃるのです。その時は、お客様の隣で一緒にお問い合わせする事もあります。お困りの時は遠慮なく言ってください。



わが町の “菊一鮮魚店”

優しく気さくなご主人と奥様で営まれている鮮魚店。

以前は、湯之元にも鮮魚店が何店舗もありましたが今では菊一鮮魚店だけではないでしょうか。

私は、仕事が遅くなるとお任せで旬のお魚のお刺身をお願いしています。食べた事も無いお魚がたくさんありました。ありがたい限りです。愚痴を聞いていただいたい大笑いしたいと憩いの場でもあります。励ましていただいたい本当に感謝です。

もちろんお刺身も美味しいですがサイドメニューの「塩鮭」「鮭フレーク」本当に美味しいですよ！！「塩鮭」は店で切っているの厚みがあり脂乗りも良く白いご飯にメチャクチャ合います。一切れから販売してくれるのでぜひ召し上がってみて下さい。塩鮭があるか店主に聞いてみて下さいね。あと、「鮭フレーク」しっかり鮭の味がしてお弁当やおにぎりに最高に合います。飲んだ後の締めラーメンではなく鮭茶漬もヘルシーで美味しいですよ！！

★会社名：徳永電機(株) (アトム電器東市来店)

★社員：8名

★ご提供できるもの：給水装置工事、水道工事、空調設備、浄化槽工事

オール電化工事、家電修理・販売、住宅リフォーム工事全般

★モットー：お客様のご不満・ご不便を解消し喜んでいただくこと。地域に根ざしたサービス

★好きな言葉：元気が一番、元気があれば何でもできる(byアントニオ猪木)

★会社の場所：日置市東市来町湯田3249(錦龍館様となり)



ゆっくり裏面もみてね